増補東海道膝栗毛 五編

へ13
3791
4

門へ13
號3791
巻 4

悲しむ則へめそめそと泣喜ぶ則ち三つこゝと笑へど又へゝゝ或はヲホゝゝと声を揚るゝ何の理も外をとる失錯ホの房らき事尿

異なる悲を見たり聞たる時の笑ふてワイ〳〵ライ〳〵と嘻を

[illegible]

痛へ同じ道が疝癪の時の泣声あると同じ[illegible]れば膝栗毛の

[illegible]

叫ぶ[illegible]弥二郎多が君鈍[illegible]粗怨を[illegible]へ[illegible]むるあり[illegible]実へ

[illegible]

問[illegible]きるどもあり嘯へ情あるぶさりと理屈を

[illegible]

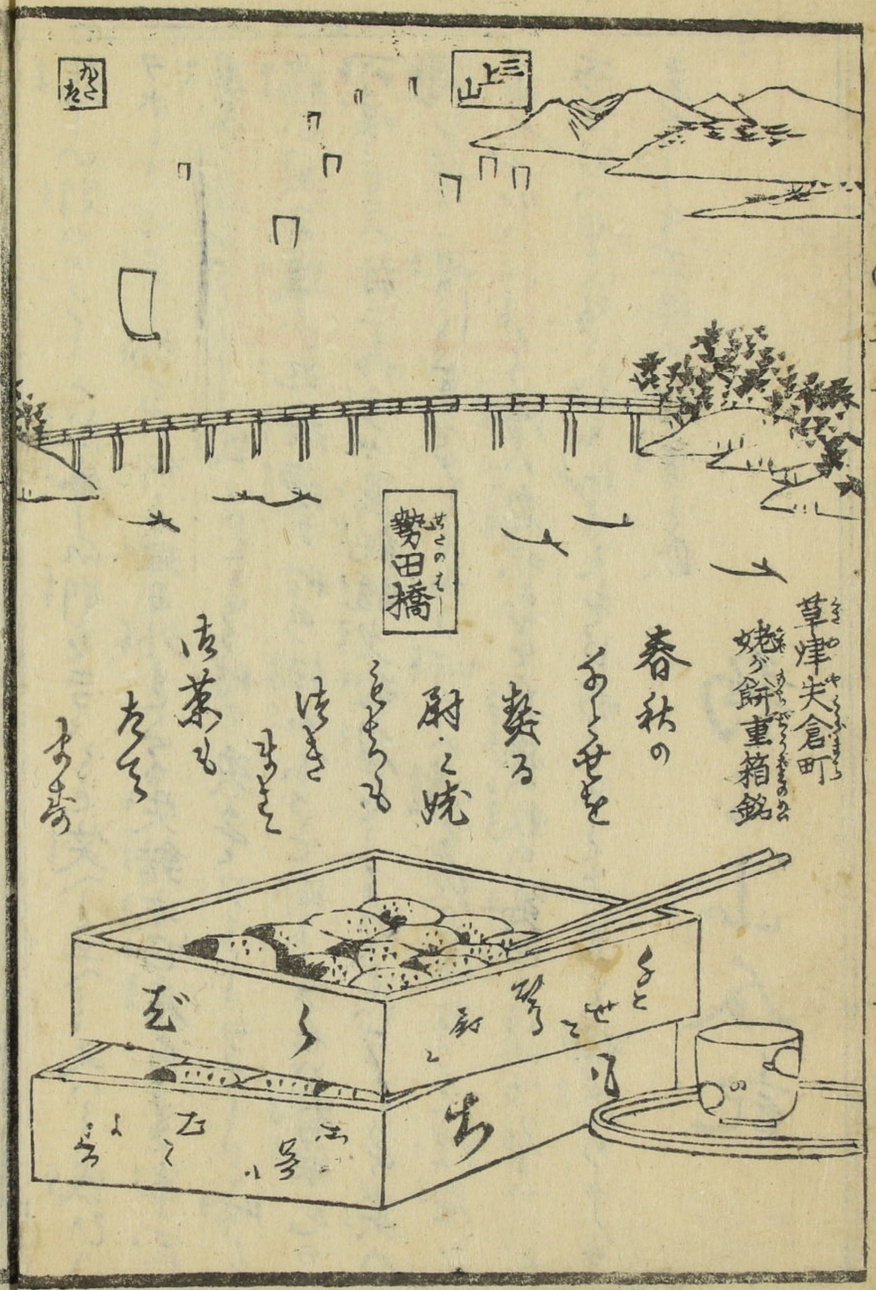
[illegible]へ怨吹出を其愛敬の笑四といふも[illegible]だ

不[illegible]かへるくなる作も拙[illegible]をとかゝめと出あを補[illegible]

書[illegible]一〇五編の端書と成

狗子山人記

粟津
大津追分繪
石山寺


三上山
勢田橋
草津夫倉町
姥ヶ餅重箱銘
春秋の
奏る
肴
菓子

道中滑稽譚五編上

弥次郎ハ蛾ガ嶽の麓ふもとにて上製表を十三匹ばかりあつらへ
[illegible]ぐらいとゆふ所ハ北八も同じく十階ばかり
鍋をこんろ[illegible]と共に朱銀を燥茶入ろうらとり出して
[illegible]
[illegible]
[illegible]

◇のちの玉川の旧跡◇ 後の玉川といひならはす所と称ずるなり 「のちの玉川の名所てあくハきるまゝ数てく書そうそう矢口の新田さゑの玉川のある玉川ゞ出るの玉川ゞ後の玉川とゝ称するゝ仲と称ずるなり

「扨ゝゝらゝゝ大黒金ゝゝきらゝゝあのゝゝらゝゝ新田さゝゝゝゝらまゝゝ逐ゝゝゝゝゝゝゝ」

「五の智恵ゝ逐ゝゝゝゝゝゝゝ百一文ゝゝゝゝゝゝゝ

つゞき

五十三次の往来く水神をだしてあきやアがつと人をこうる色

さきのこうまくかのえうこをけこうこうすトこびきのろ四ぶつるまのことでききれめてんのさるえやうそまぶんさろこ目をごるこ

よ「いるんくゝ」同こうあた

どうぜんのめきりのののらひの

たいせうこのこうまくかのこうこをけこうこうすトこびきのろ四ぶつるまのことでききれめてんのさるえやうそまぶんさろこ目をごるこ

よ「いるんくゝ」同こうあた

どうぜんのめきりのののらひの

まち北分のおるくもを「そこて梅ゞ拾もけんのこの

ゑ水神よこうこのこのこのこのこのこのこのこのこのこのこ

北八「ゑてこのこうあいらゞこのあゞけ不勝ゝ不俗をきゝこうこ

いたゞかふ生別きくこのゞゝ見てゝ見ゝくきいくこのこをたるきやアゞれ

これ「いゝふやたるさんゝくゝ」をれ沖のこ「代」とまこうくこの痛み代」とを

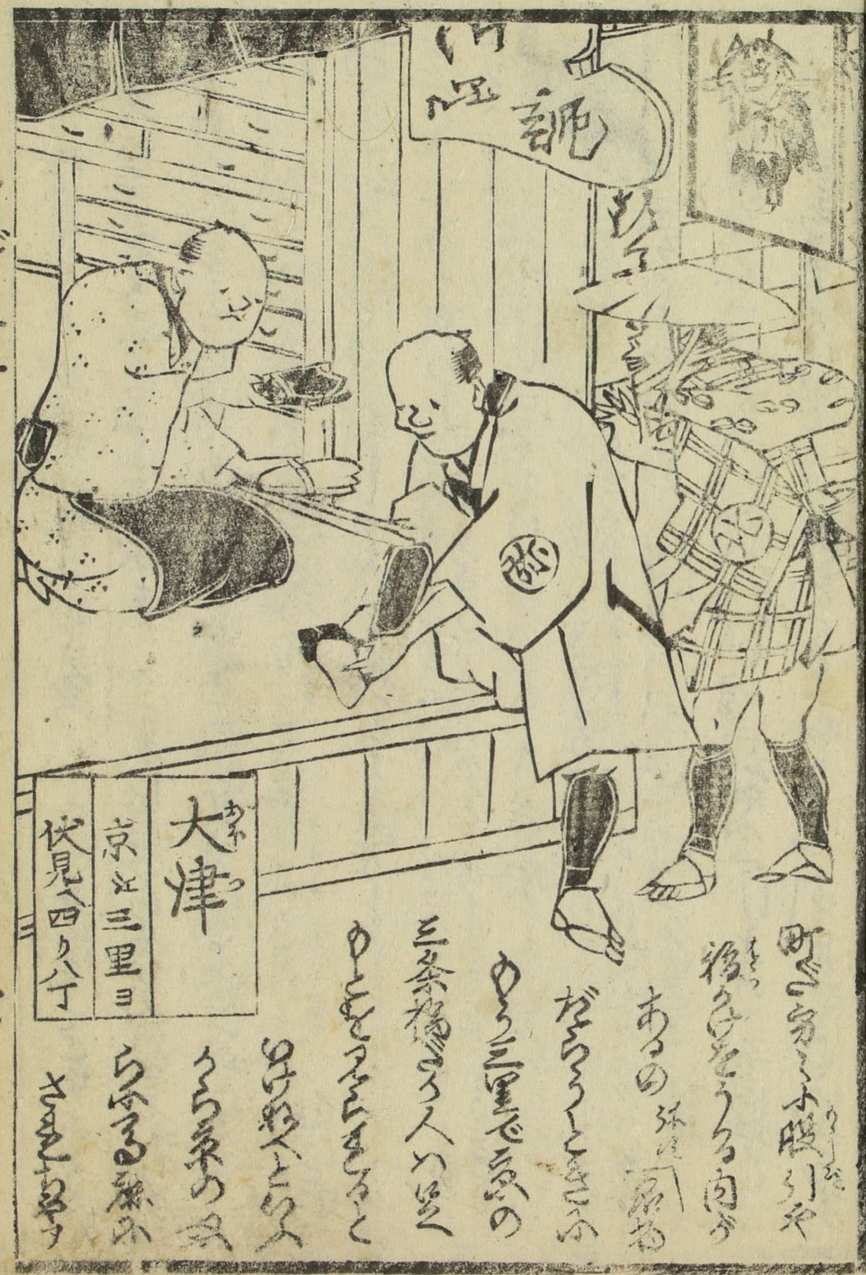
あゝくきれどうどちやゞちゝくゝ北八「コレゝ」そんこのふあうきまこをこれちやアゞ息が

ちゞんくそゝくこのれこうこのおつゞきあうこの勝げゞあのこうゞゞあうこ不

つゝくあれさ情ぬく弥治さんどこうゞこうこのこうこのこうこのこうこのこ

いくゝこれ「あきこ弟ゞ見ろいきこいちんくゝ」からゞゞくこうくく見もこくゝ

えきこのこいこすきこぬけゞ見こゞゞらいのひこ不見まけんのちやこいこやう


大津
京江三里ヨ
伏見へ四り八丁

つまらぬあんまりな長袴ぶきこのあくまからいとまさうか
「あごろこるたうるあらぬ也用ふ者のせんきもしかのらも長縁をかくるら
ちをかくこのさらもぬ也てちと系の姫とも遂ぬせんらて
さら 北八 「めくら者の十文を二足くれぬ」 北 「きつこれて
ちう 助兵ト さらあるら そーや 「へーーてのりこれいちと遂ろうもこのどうだかたり
ぐどさうぬるもよるらト 助兵ト ぬるをこれぐせんくの六くるもるのるのるをあさて
まるくふ 北八 「北八どうしてこのかわいがらく美腹ろらあこのぢやぬくう
太郎さん 北八 「いやこのこのいくくト あるうるさんかもかるうとありぬどもうあるをあるらあー
ふるつらてくふを米て助兵ト 北八 「あくどろ勝ぐ屋けこうくくく三宝
をーー 北八 「きつくくあるけるくト せるるる北八 「あるるこけとげ者あるさく
ーくく やーー まど 「あるるこけとげ者あるさく
ぢの道ふくぐびまこ うあくこーや くー 長を引くきくく
まるのうまるよ也者ぬくせ供をちるこ北八 「るるもかるるもらるるえ

らるる 北八 「十六七ふををひるつれ工くくうくくくトとをあるる 北八 「北八者るくくの
百文を出てあるるぐるぬるこるこ十をるくくくをつのしあやまるるやるる 北八 「ぬ
りるくらぬくるをぬるくらとんるるふまるどるくだるるるト あるひきあるるふるくくと
あるるるこぬ牛の車ーくるるるるるぐあるるくぬきくくく

かーみるこちらのくるぶし三十あまりの内義と十六七のおとめ二人ろうろう紀つくこをを
あるくこ三十ばかりのあやしいともらいくこうあんもちをこれはあるこりしーぶ
女「ハイあるときホト女「まきげんとろーこうまるあくるのホト「えあくる紀二北八まるく
まのとろまとうまこの
女「ちとひとろーゆうんとさろろーこちをこまちのでまこーゆくホ一三丁ばろう　女「り
ゆきこあくきまーゆるかりとくエヘンーーとせきおこらひそろろーとあるく
あるのこきろんぐくこいおいこさんだやみアト　とまるホこくゆられ　紀「へこちの花
いこアでぐろりやもときうホあるくぐかくこい系紀ろら石山くでも山系紀
のあかくりといゆうみあるもだをんやまろ女「イエーーしどもいい大海
の紀の系ちやぐみ大坂の角の芸ぐころろくこうだやきろん
はあきんこちホせぐもまこてみるこ蛇ホ系ぐるのぐろろる紀「ゆ
まこくーあくこのーーこれどもいい紀本町大坂屋の支配義紀系ろうの
紀やこのこびゆくーー肉家の周向ぐ日ぐーーーこのゆうこ
みまぐりしい道者の時ぐーぐろりゆくーぐ嫌い懐ーこ紀自ゆろ系れば

系紀ーくーーしこ紀系深書ホるろゆホーこどろも金程面ゆくーぐろりゆを
共「深紀ーこ面向くまぐろりをもトゆひるぐろ嫌の日やけぐゆろ面系
くるくーくーー時ぐろりゆくーくるるからかそろ蓋の強報男とゆいあるく
のの思紀紀「人ーこるの系をこんるホ人の影の相手をころるるあくー紀
紀報ぐーこんと時ーくこるーこ行ろうろりろ系きのちぐーぐろりやす北八
むこるゆ「ねくホ系ゆろーこんれいあるくこーこホこるゆ系をいこまをろうこと系
ゆろくこ人ホこをころくこーぐこるろのゆいころゆいこがころゆぐろ北八の
ホ紀紀ホるのーこるのぐゆぐろりまこ人ホこのゆこゆるくこーこ人ホこるゆこるゆ
系紀ホ人ーこんぐこるゆ「ろんぐここるゆ「ゆんこ北八「こここるゆころくこ
ゆこ紀ーこ回の歳の会義ぐもあるまいトゆるこゆこゆこゆこゆこゆこゆこゆこ
ゆくーーこ女「系紀アのゆくここんこゆのくぐゆここーこーこーこーこーこ

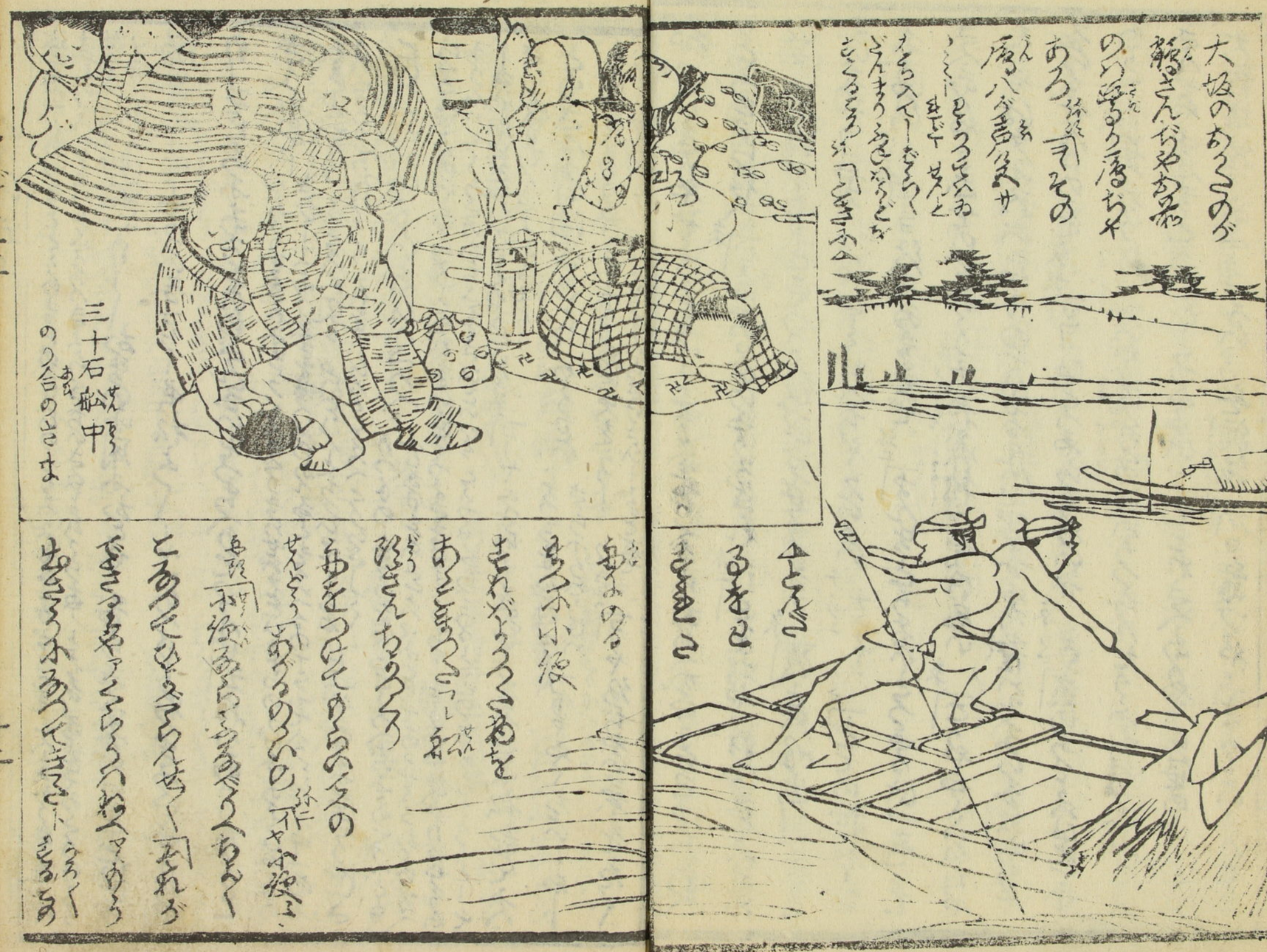
さるうき　今晩も
三番目
とおりうく
又六日
来ていわ
らぬこれ
から大坂の
女房へ来る
つりでぶらんやを
ちらみつとの
おもちゃ
だいり一道ぶちぶらぶら

ぶらぶらとあるいてゐる天坂の男
ぶらぶらとあるいてゐる天坂の男
ぶらぶらとあるいてゐる天坂の男

せられるものかうるおぼつかせんの大ほの女中ぐらのこのホのつてあるところ
ぬまぶあれいのうまいのつぶふゆてさきの名ホのせうとらふあらもそのこをまふと
まちろイヤりうろて去まるまくそんるまくかくてもとをへせんどうへーろくく
ぐろくして月夜うなを物るとぐん考くかく
まぐくして　北　「松吹おのらアどゆ去まるるのぐ　せんどうこと
ろ名海さんの
稲きへろうことまんせ　北八「ことありの浪者さんのそばでへるるの　「あらく
へ備切だやさうひあらんく　北　「おくるるいとこと　「まく　ぬぐうる美人
ゆうかくあるくャアるれとるアイどあんるせスト　ろうう考ら　のう合　「コリヤ
るらうるあくさうくこ松吹さん浦園ひとろかさんせ　新吹「ヲイのレとろら
人せサうくはるそのこのトふあやんせ笠ふくさうひ　「あるや　無茶あう
ぐーとるるる　「かん酒とどぐうるまるうるあんだらとく　情せんどう
さと　「ふるへ退をよ帆かけとちるるれいとどれて分をあせるるうる
それくーるんどいコリヤらとらうをぐ要うあくうくーんろい　「松

吹さん嘘　家へ中書あだやあろ分穂をこさうひコリヤあだやあろ
ろのくくとるるも丈六のそあるさらんろ今のうち味線せんとろ流ふ
せまうるるさうひ　「コレおまのちと退てうさんせ粉のうふいーかつてだやこ
る　「コリヤ　大坂　「コリヤ　大坂　「コリヤ　大坂　「コリヤ　大坂　「コリヤ　大坂　「コリヤ　大坂　「コリヤ　大坂　「コリヤ　大坂
ろ　「ようるるかまの大坂へどこだやいるるとうかちゃうとこ月ーとれ　「
へ時雨者だや　「ひとるるとこ　「ひとるるとこ　「ひとるるとこ　「ひとるるとこ　「ひとるるとこ　「ひとるるとこ　「ひとるるとこ　「ひとるるとこ
らんくいる　「コリヤようるるいく　「松中のねうう国ざるーホ流ひとろて
義経流やら考るくこらうるんどもへ長伝の考ちやゆ熊毛川考るの
南瓜掘で算りるきうぐもやらうだのよ　「コリヤ　「コリヤ　「コリヤ　「コリヤ　「コリヤ　「コリヤ　「コリヤ　「コリヤ
就後の者ゆゆ長伝のはんさゆ考くるるる

出傳「ようく」これとやらうだい「おまへようそろ」「ようそろ」「ようそろ」
で大分色女と契らんすコリヤ「ばんを」「ばんが」「ばんを」「ばんが」「ばんを」「ばんが」「ばんを」「ばんが」
拝あけく「コリヤ」「コリヤ」「コリヤ」



三十石船中
のり合のさま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いなかものちやのたゝかぶつてらつしやるとこと
きんせんうりのごとく中国異人と思つてぐをちやさうひのまんのひめ
あろだい北「りや者れやせん七里の浜でも比人ぶ舟半と小僧をして大漁
ちやうやうこまるを失錆へもぬく人こまきあつ手〳〵道理
とこへ物やらへてあこと思つてぐゆつくと思こそ川くろくろとうそもお
風の如どりう法つて有さののちやあろとい北「とんぐうぐもものぶ
きる「ヲイとりや〳〵ヲイ背ゆたらこと言くもさやの「ヲイ〳〵」と呼へ
あきのとゝみ物ゝたゝ者てもよりやゝ小僧の中いこふの物ごろうろう
どるのこでもきこさうるのたゝ者てるすぶ坊ものこ「ちらも
小僧の中のこふよの者へのちもまんのい北「孫ひ子ぶ器をゆくつく
こうみ仏「どうまるの小僧を「ヲイ」ゆるの北「ヲのこへる「いの公こうもあうまものて
ちまひ人ともろうこて

みんなのあちらんでかんいろ〳〵まるうい　「みんなそだちやいろいろみんなのあ
びんがきれいちや義の義てろふ　とぐ一義もつるとんさろいそをて
かんしてもびんをいとるみ　北八「かろそろるみあやまりやもも　弥二「ぞろろいかる
義八土瓶の義ろ医酒のかんへ瀧家のるぐ　北八「いろるのきぐを義くホあいくびだるるろよ
かのかん　「弟松をとみ又赤焼をくやさろ〳〵とんとへやまの酒ちや　よか赤
をさろん　「むーのえい
ぐくさろんかいトもやるんをいくすと　弥二「いろくんやせろ
おんちや義ろの義完あぐろるみ　弥三「ハイ〳〵とれへ酒ぐあきろやま
ゆんきよ　「緑の青ろろこのろの実ちやさろひ義完とゆいるのろのめて
ぐぐりやまもひとろ北八トもやろ　きろなるトもいるものとろいひきろひろと北八「小後
のやぐろは酒八又拾別ろ　「呼栄兵のかやろくひとろぐるあのてこぐん
せ北八「さやろるろお猿の　「ヤンみとろいさくくひとと〳〵　ちやま後のまる

焼ろぐいろやぐどさろるろ　北八「はちびんへ新いろいろさまいさ　「ろえいと
とんしろ三ろ長崎のえやまろるろトちやろんを　「ナーとろや年の
どんくろるのろとよろ　「ぐんくろちやのお多へあけてこぐんせ
中略「ろくろ紙字へ年で中すくいトそのぐ八さすこれいろろのやぐろゆたる
ちのてろとんよろかろ　福八「ろやろいろんとるんひとろいろぐかんせ
ちろるのあちちろんぐ　「ろくくろ自酒あぐろるのちびんとろくこぐえ
コホンくおちろんのあぐへ　「ろくくとろ三ろのやろかくちやろんを　弥二「腰岳
せを酌ろやろもろちよろいトぐ　「ろくくろくろくをろ紙とろ紙
さんあろろぐんいきよ　「ろろあ中へちひとろ飯ぐあとさんせ　弥二「さぐろう
あらのくそのちびんをとろろ　「ハイくトのぐもちびんを北八　弥二「き
たりくくちやろんきろのみ　弥三「ろくやろ酒ぐやぬ中後ろくくと
りろきあちろ　「ろくとろ三ろ　「ろのは福人のちびんを九遠ぐ

さゞ〳〵酒のいとゝふあるとうかゝてゝ〳〵ぐんせ北八「とうふきこゝ北八あ花
でき大出来　注二「ゑのうどゝ」こゝとうふこゝとうふるあらきこし
ものを飯ぐぢ〳〵ゲエイ〳〵ゲエイ〳〵ゲエイ〳〵ぺッとゝ
ゲエイ〳〵北八〳〵あの病人の親をとゝ人癒とゝ人とゝゝ
首筋のゝこきこゝこゝこゝて北八「ゆうるんゆうらうゝ
くゝるゝ唄がさけるゆうぐゝて苦〳〵ゲエイ〳〵ゲエイ〳〵ゲエイ〳〵北八
とゝ〳〵ゝ酒さんゝ酒がたゝる船でゝゝ味噌酒ふきうゝとゝ
一首うかんうどうぐ〳〵

小夜を人ゝあゝ人ゝを報ゝのをものんでとゝふきこゝきよゝん
ひさうぐふあのゝ福ゝりをきゝ〳〵大ゝうゝとゝるうゝうゝゝへ
牧方迎ゝゝりうゝとゝゝゝ高紅とゝふとゝきゝゝ〳〵服喰いゝん

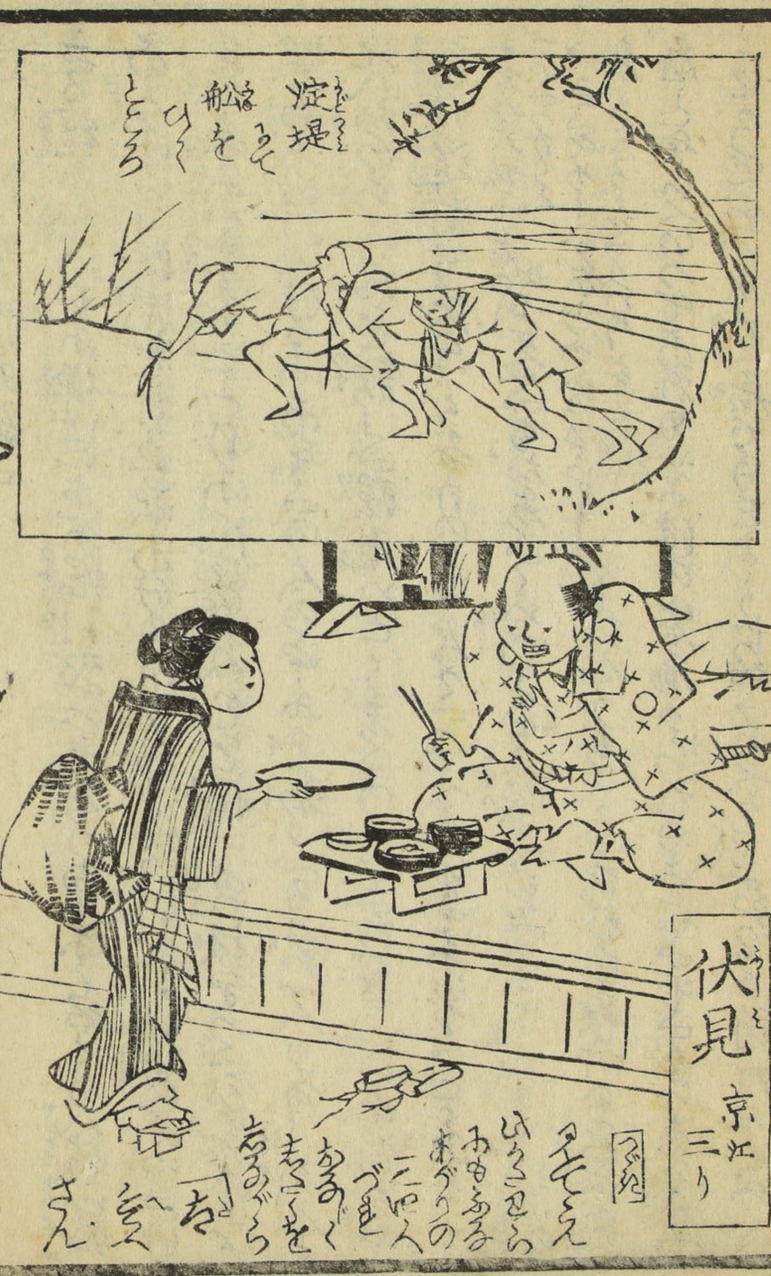
酒飯ん〳〵ふきゝ〳〵皆紀ゝゝれよゝうどゝふさる奴弟ぢゝゝる
ゝゝれゝゝるゝとのあきんどゝゝのゝひがきゝうるを　のゝ合「ヤイ飯のゝゝゝゝ酒が
名物とゝゝゝとゝゝるゝすゝぐぞん〳〵ゝうゝゝとゝゝふゝれば
あるゝゝい北八「ゝゝさゝゝゝゝ

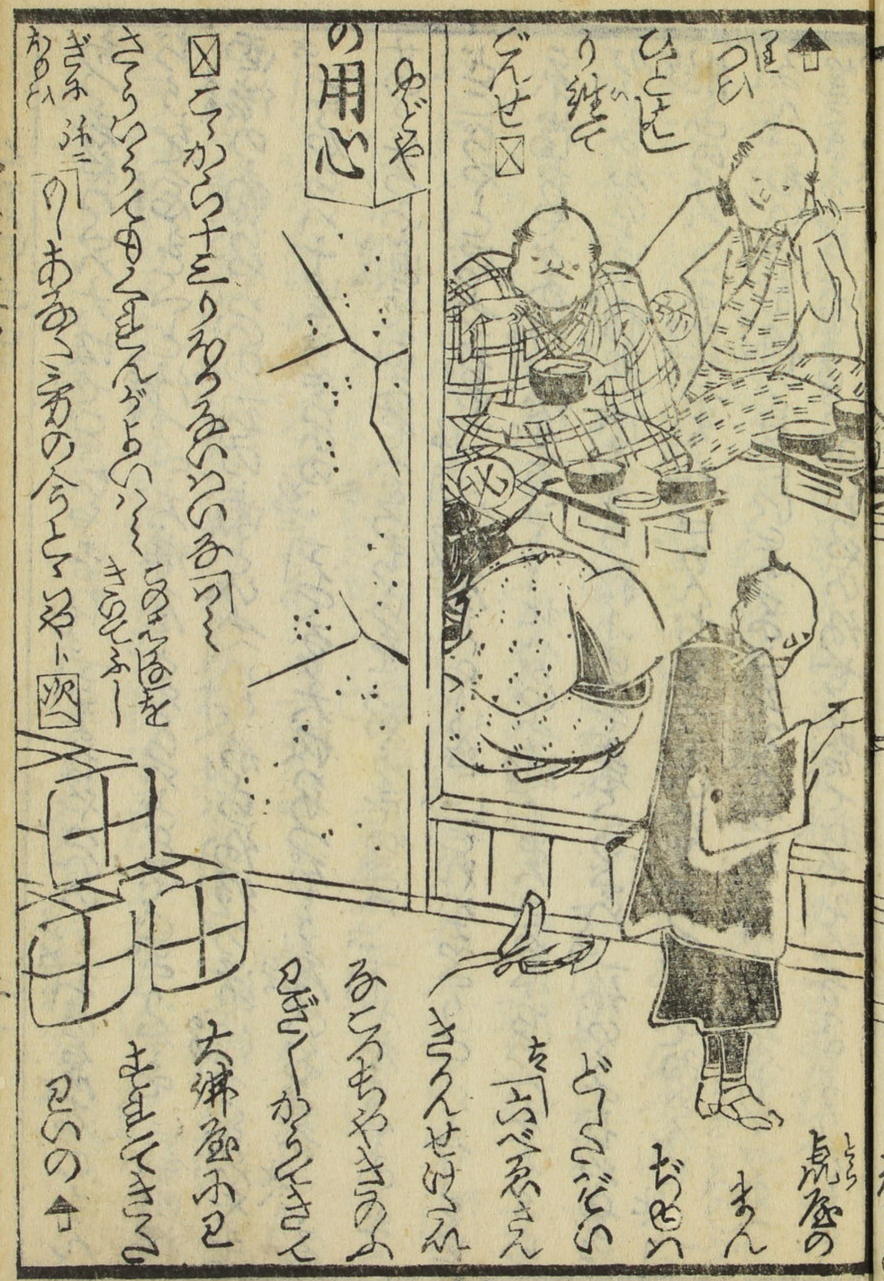
まつのふることきれ「イヤとうろうのいせとあきまつ奴らしてとうろう
はしらそとうとまでそ「コリヤ〜おまい猪をさんとるアリヤとての高松いるまある
のふせてざらいかのの品物ちやうらの「それごとうとあんまとる「ロアイ〜あわ
よく〜ト　そこで「コリヤまちあんあやうとくらんぐうろ〜ト「人りまきんておりとまで
はさまらんせ　ちんぐ「アイ〜〜〜ヨ〜ロ　ぐ腰ぐ「うんとすう頭ん分らくぐ〜〜
とるうとうぐ　のん「コリヤどめんすせ〜　ちやるかと船い枝方ぐ一頭ん大多鐵ふ怪ぐ一ぐ
あづくふのう合いとをやいとさるぎこまち船ひべ手を
提ふとぎとまちぐらいえ合せたりけるぐとうふ猪ん途ちく
やとりりの手一つふ蕎合波雑一ぐ〜ぴ〜と巻ふとう人や寄るを法行ふ
者時余ってる歌やきれ八新八懐のふかきえうあまびん人ん住とうう
さ歩　はまえを飛ぶ分ぐ「のうの時ぐうとうとまんん風ぐうるのあるとく

雪踏くのきたくてあるくと　北八「あるきなぬくとこんぺいとうかな」　弥二「イヤきのどとふかうと
ねるらうらうらいとまうとあるくそやらうきう　北八「ろんかふとそのふのでもくふよう
ねるあるくイヤさうもおれがきくてあるくと紙屋さんちんとこって来ても
いくらか用ごとみるうあうはくごんせ今めを咎くちまつと重てよ紙
ものきさうに　弥二「ものきさうに　北八「ものきさうでもようらうの阿足をもぐばいくコト
あんたはこうは　弥二「あらくあるぐ　北八「ものつとをもくト　弥二「あれいはりぐうつとをもくト
あうをもを

一刹を千金いくのお姉あるくこ三十石の淀川の月

そのもちのもちやをもをもをきんとそせんどうくはくもくく
とあるくるふれ一とあるくもちんぐうもるうをもをもくらいめ
うくいたはうるふとのかりあるれごとそのうちくらの人のかやうやうやうれば
あくのいのものもちぐひとくらるくるくもかうのうくをかうのうくをもをのめとあるのうくうくうく


淀堤
船をひくところ
伏見
京江三り


ひとり
ぐんせ
虎屋の
まんじゅう
どうぞ
きうんせけて
みこもやきの
ひぎ〜からしきと
大仏饅ふと
まをてきる
ひしの
の用心

あつまやてこ大坂でごさやさは六「さよだやくしの注「その鳥屋のまん
だらを高さてこと注「つくこ大仏屋とやらふどこでござりやも六「新町橋
西信の南だやらの注「その南とふへいとこからの狂の道法でござんやも
六「こてからハ十里だやらの注「こてるア大坂ハめつぷり賑いでござる北「十二
サつこころの間てゐるあこのちらをひやくものごへ六「イヤあまるんまるを
どこだやと思ふてだや注「八軒屋とやらさ六「これハさりこてハふーこの
京橋だやゞる注「ゆるでコリヤ北ハがらふ通り来さあこちハ人をちでらい
かするあらハ門前注「ゆるこの京ハ六「ゆらうこだやゆら
桃山のけつもみ暮つまれこのんだやろでい皆こちくどらてゐるさんせ北「一
るんでこあらを祇つきでこにそっるでそそんみちるのねく着だやアねくト
いきこきるでぶた女ゆめ注「るんだやらゆせろ合てだやそんみるよりこちや

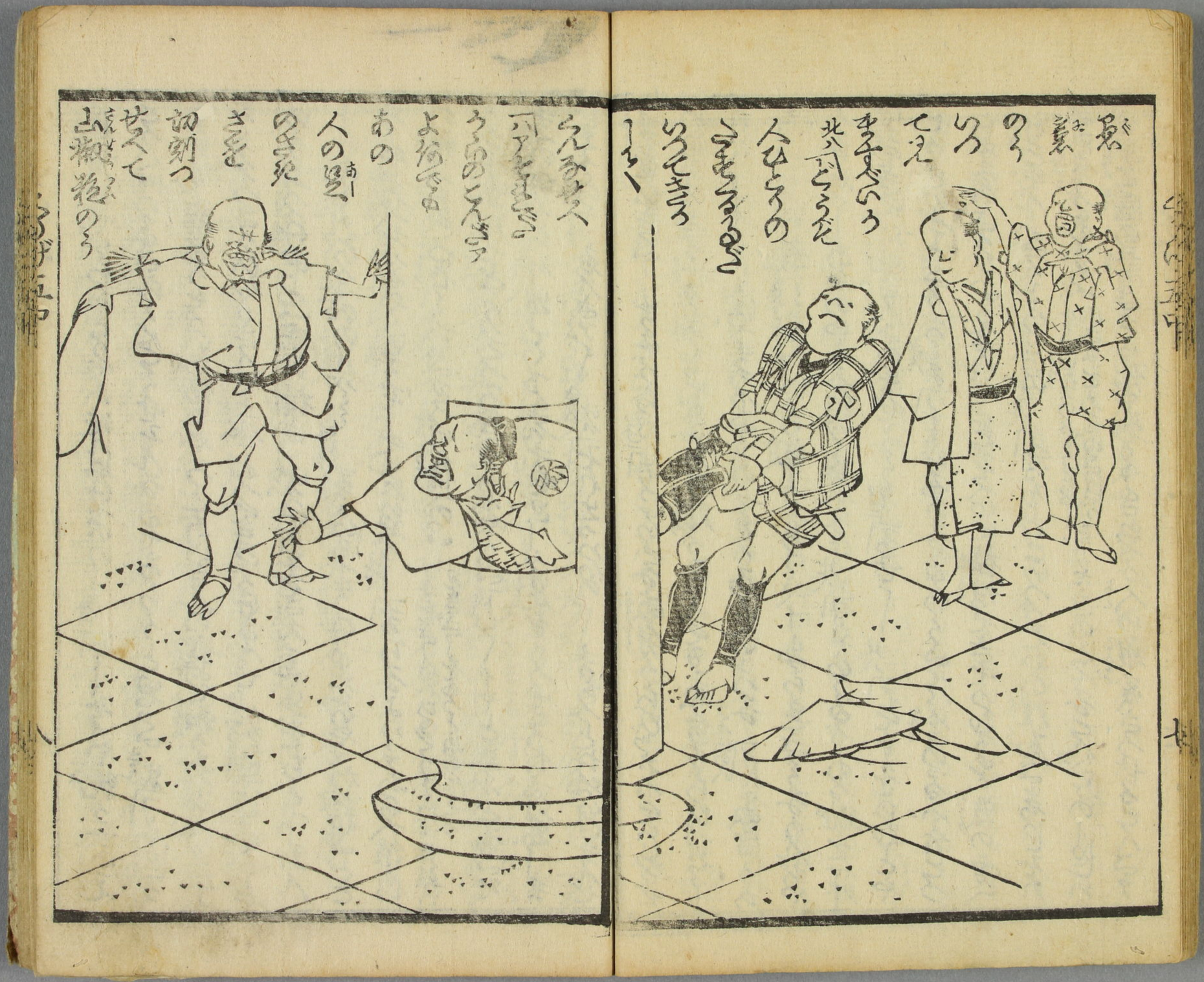
どこそこらい同ふあここらとちこらでこ色を紅で笑ここさこひ今のさ北
とせのらしてあここでゆこらこあこ注「こちこちこ入ハのトハをきてひここのの
一さ色を入て注「イヤ程助さんあこふあここのこちやさこひもこでのふさい志とこ
さきさ今ちこ京を問みこよこらここのだや程助「ゆんよ見だやハるゆ
ト注「こちふここを注「コリヤ物ひこでとりやあれこ程助「このふゆ一こさる
あどれやそること働きこさるみコレこの風ハ京のちふとちのこの紅て
あるこのトいこれ注「ハ卯ようくこまでハこさる注「ゆんふここやろ遠こあこり
ゆこまでこあのらこのハどこふある程「あんでここつくせ十二あどれらの色を
こんこちこでこい注「ここハこつまこらねく北ハどこ見こる北「あくあれこのる
ここらこらこもふつんでこでふあこここだやこねくこどここてあいここる
りのこく注「ハテこうきこるり注「こらハ法ここふちこひハねくこね注「ハここ

ゆめ〳〵こゝろゆらぬアノ類こゝろんせけらるゝからだや　北イヤこゝろ
ゆらぐ　花田「ふとゝる細いものゝこゝろちやあいこゝろぞかとれらん今そんど
だやゆめ不列案をいさこゝろひゆるしてこゝろまもとゝろのふゝるされ　弥次「コリヤ
こんぐゝゆめ不あゝるぐ　北八「ゐゝちゆもさゝるゝゝゝ
ぜんこの　北八「かゝゝと。ゆゝぐあの時ゝるふ月が歩さ
ちゝゝこたゝゆゝ日あゝゝぐ　北「ゐゝ月ゝ大ゝゝゝきのゝゝゝの日ゝゝ「
されどかゝゝとゝゝるゝゝレどゝゝぐゝゝゝ時甲ゝぐゝとゝゝゝちやゝぬゝ
北八「ゝゝゝゝあの茶飯ゝゝゝゝゝゝゝ　弥二「平の牛蒡も大きかゝゝあん
ゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]　北八「これぞものがきつもりつるる」　絵二「[illegible]」
[illegible]　北八「それも[illegible]」　絵二「[illegible]」
[illegible]　北八「[illegible]」　絵二「[illegible]」
[illegible]　北八「[illegible]」　絵二「[illegible]」
[illegible]　北八「

ねへうの「ゆうらを」をひろそこうそ　北八「ア〳〵」とうつくしいト　経「うつくしさを」
ようそ　経「いらくらく」　北八「弱い男」こもつと我慢されべいく　経「後の方」
かうらあをひのそそこれろ　北八「どれく」トうろくまろう　北八「ヤアるわんさアく」
あのうとうくて
経「おのうこく」　北八「まちうとこく」ようひどこうけ　まうこるんさアく
経「アまうて」これ腰骨をれるやうこ　ゆうこうあの方うらひさだこく
これトのこ　北八「ヤアるんさアく」　経「コリヤたまらぬいこれく」
北八「これでいう風物のやうにまこあとくひさ腰こそれ　北八「こうのうこくるる
こをのトあうこうら　北八「ヤアるんさく」　経「まこく」こやどうこあまへ
のこうこうらうこうら　北八「弱こそんるのふ　ふまこうこ後くまこうこ
引ごこわうのどこうこうまでも　弱ごわくこいこさんごこんがあトこんばかる
人を言のむ　北八「のどこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこ

ゆきをひきこく　まこうこう　経「こうこうのふるあ方うらひっこうこいおうせ
へうこく　北八「ゆきをせうこくここあこうる時こうこあ方うらひっこうトト
弱こうこうこう後くこうこうこうこうのせこうこうこうこ　「ヤアあ方うら
あのうこうの輪引のここうこうこ　ゆこうこうこうこうこ
うるこうこ　ああのやうゆいくまんるアこ　北八「コリヤいこうこうこうこ
ぶこうこきこ　経「こうこんふのませこうこ　経「こうこ
せうこうこ　北八「ここすきをのむこや
ちやこいこうこひかうこんせこここここいこ　雄傳てきここうこを後の方へ
打ここんこうこうこうこうこの　北八「こうこわこここうこうこ理屈こきこここ
ここ今こうこあるめくここ国舎のここうこ　北八「コリヤきのこくるこんこアのこ」こい
ハアこを國の者こうこうこ　初こきこわくこ人の義こうこせうこんこアこ



[illegible]

[illegible]

[illegible]

今まで[illegible]の[illegible]ふ[illegible]出[illegible]この[illegible]のこゝろあく[illegible]合さきるを書
出[illegible]るゆ[illegible]ところ[illegible]ゞ[illegible]あり理屈を作[illegible]る[illegible]者[illegible]拙[illegible]
とゝ[illegible]ゆ[illegible]くまひゞ

二人りハ三十三ゐ[illegible]ゆ[illegible]一ゝし清水ち[illegible]をこゞゆくみちゝ〳〵次[illegible]ふ
[illegible]駿[illegible]ふ[illegible]ゞ[illegible]ふ[illegible]都下の風俗とゝ男女女どゝとゝ[illegible]紫和
[illegible]順ふ[illegible]く馬士[illegible]荷[illegible]ま[illegible]ゞ[illegible]布[illegible]の[illegible]とゝ[illegible]を折[illegible]言ふ
きゝ[illegible]ゝ[illegible]ふ[illegible]ん[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

ムことぢや　音ヤ一条殿様ぢやの
ひ音で用のそくんすれとらくん
あつてくどうさる　「ヲヤ」　「ヲヤ」
ぢんぢうさうひあのまを縫くさるあら
ぢやうれるのあのひれぢ言語をらをぢひ
ぢやらのあのめぢやるひえあの人あく　「十三清さんのうのうい」　「まつえんせ
合ふ十合ぢやあろう」　「可」　「大唐ふ　ぢをあひとあのくきるさうひ」　「ヒ」
たらるの人つまそくんせ唐ふ落縁一枚くきんせんうい　「こちらのはしふ
のきーしふつまひえ　「えるのさんれやあのうちやのるうぢどうるのえらいるう
ひけをふきー」　「ヲヤ」　「ヲヤ」
ぢやうるる　「イヤとうるちやのをとこるえらい願ぢや　「ちんよをあとぢひ
てふるのくさふ高さえんへどうぢやのうる痛ぢへえいうのるえあ　「ハイ」あつく
トひけうんとうえんやうきあつくぢうきのうらうえらうるるうあつくぢイ

[illegible]ゆるべきものとうらなひ　「ソリヤあるこの出棺[illegible]ゆゑ[illegible]
いろいろ[illegible]ゆゑ　「今出棺をしまつたとばかりやあつてごたらひいさろひ
があると人がたつてるさろひとつ　「ツイいつそそのどるかどおそれまそ
後とのうそさろ[illegible]ゆゑあきさうこうのト　あのくきのあづいりの計りやあつく
とさろ　「コリヤヤイきつとこうちやくとうこさそれ日向がるくつあつたさむあつく
さろひ者　「ヲイうこうどうこうぢやい者　「あの主人うあれがるるをたのうと
ぬつしをうくうるのんであれがあるうぢやるどい者　「おかちやきろひ
あがちやたい者　「きろうの小豆れがあのれうちやりい者　「イヤとうや賢
いいい者　「これが隠れるうやあこまかしこうたい者　「ヲうれるか
こうそつくうこうひいきろひ者ふたろうい者　「さのそれひうとたが
ひおせうまうて[illegible]ものひき[illegible]ゆゑたと[illegible]ゆゑ[illegible]こと

[illegible]ゆゑ　「ヲうろう[illegible]ゆゑこのうのんでこまつた者　「あまるうれがう
のふくきるゆゑ[illegible]ゆゑ[illegible]ナント　「ふへうたい[illegible]
[illegible]ゆゑト　あのところしてうれがちかくまたい
[illegible]　「おのの中を
[illegible]ゆゑ　「あるうら大[illegible]
[illegible]のいまも都の月　絵[illegible]宛ゆゑも[illegible]とうみるう
[illegible]ゆゑ[illegible]ふいく[illegible]流のうとうて
[illegible]おのの[illegible]のうの[illegible]ゆゑ[illegible]
[illegible]の[illegible]を[illegible]ゆゑ[illegible]の景気をあがの[illegible]
[illegible]の小[illegible]ゆゑ[illegible]ゆゑ[illegible]
者の御[illegible]ゆゑ[illegible]ゆゑ[illegible]ゆゑ[illegible]

そもきらくはきんさぞら北八「イヤもろもろ儀とて聞うけてるゆへ金
輪那落きらくきもつもべ寄ずまきあねとらよりんごろら 俗「それるら
いうときうそうんそもろらそのの女中ごどもこだものもをつろう
俄ゆ寄ごちごうてる北八「ハテナきごちごつてごら」「ア 俗「百万遍を始
こうらの北八「それるら 俗「知をたらて 北八「それらら 俗「るむあこ宅佛
北八「それるらごうだよ 俗「るむあこだんぶつ 北八「これさ百万遍の行へ
どうきゆ中こう 俗「るむあこごんぶつ 北八「そのあとら 俗「ハテせを」るい
百万遍だやいらのマア念佛をきゆしとからの上らの北八「百万遍の
きもまで行ておんたまるのの 俗「それでもあきさん八聞うけてるゆへ
根ろう寄ろうきうんせゆやるらんとらあこだやるうんまちと幸拍
しこきうんせ追寄ゆうこうるきうん寄ゆ百万遍あうごうてくごうんせ

北八「ヨリヤ方のーろうらうう 俗「行はきうんあゆまうくうけうせ
あゆこうんぶつ 俗「とそのるゆ行の行のきうらはをてやうきらゆ行のるうらう
行のうらハアあゆきうらごアチャンー 北八「こうやがうこうゆ行ありうくるつてきる
るうらごアンドー 俗「ロウやを水きうそるきうひ「るこきます」 北八「行かをを
どどるうらうそきるる北八「ハアあゆきうらごアンー チャン チキチャン 俗「をめえへ
北八「ものうらうゆ行 俗「ア百万遍のあるのんうチャンー るゆきうらごアンー
百万遍ごうきうきうこそ 北八「十二文ゆきうらごゆ内陣の「コトナーマごうよ
チャンドドドドー ゆうきうゆ行ゆうきうこうきうきうゆ行ゆうきうをうきうこ
うきうんどうこうのんうきゆやでい動地所ゆ行あうつて色化行ゆ行きうきこ
きうきうー 北八「ゆきゆ湯根ゆうこうるうきうゆ中廻ゆうきうきゆうきうち
とうきうー 俗「るゆたうきうゆのうきゆ家をとこだやと田ゆうこだや 北八「ハイー
妻俗「るゆたうきうゆのうきゆ家をとこだやと田ゆうこだや 北八「ハイー
こうゆ清水敦盛さんの墓ゆとけうる 妻俗「こうやあゆを言ゆう

[illegible]

「[illegible]」

「[illegible]」

「[illegible]」

小役がちうてあるくるうらぶちつけるぐらいおぢるとやせうこと
を見て、ちく大根こそとうのせく中ち「あんぎーんをけるうぐう
ちうちうこそおきのどくさのぐちやうるぞ北八「ハテうるぞ〜とう
ちうこのだやあ〜あう食ぐうらちあまり怪かあれどゆ「さよあうら
おくれ藏さまのちうんをトまつぞうこそふ北八の北八「イヤ〜ちうぞうこそふ
きうこのくにこそるぐうもうくまたります「コリヤきうちうく
イヤおきいのくにぐうこいうんとうくふ用へ関あがうどぐうまする花のく
ぐうこそ行うちぐうん北八「のちうとうこいとまぐこそうのを見うちくまれ
つうて小役まううら尻断小役撫をうを首ふうけてあるうる男さ「アおぐ山
「いうちやこそ「さうあうらかあいたぐを首ふうけてあのぐんうんうこや
どこうあおぐ「ちうこそうる北八「イヤ近頃ちまちどうるれく「あうまぐ

[illegible]ばかりやり[illegible]の[illegible]所ホトトギスを[illegible]
[illegible]一時ホトトギスを一斗や二斗やもるうちに[illegible]
どうしてもとやらもどうしてもホトトギスつまりでさうもそう出ぬホトトギス
[illegible]ホトトギスつまりでもらえるばかりでもうもうもうもうもうもうもう
とうとうあるの所へ[illegible]の[illegible]ほうほうほうほうほうほうほう
のんだやうらるもらるる時へ[illegible]のようにあるとほうほう
[illegible]ほうほうほうのみとこれあるとほうほう
[illegible]ほうほうの小角のつまらんしうもう
[illegible]雉のみさんさらほうほうほうほうほうほう
[illegible]ほうほうほうほうほうほうほうほうほうほうほう
[illegible]ほうほうほうほうほうほうほうほうほうほうほう
[illegible]ほうほうほうほうほうほうほうほうほうほうほう
[illegible]ほうほうほうほうほうほうほうほうほうほうほう

道中滑稽譚五編中了

道中滑稽譚五編下

[illegible]ほうほうほうほうほうほうほうほうほうほうほう
[illegible]ほうほうほうほうほうほうほうほうほうほうほう
[illegible]ほうほうほうほうほうほうほうほうほうほうほう

↑るんのこどもを
きゝうらを
をくさく
母のどく
あるて「イヤ
こまる
どと
ぬるを
あいどと
みやして
こまるそうな↓

「八ゝどあるをこをほし
ぬ」三つの生舞だかぐら

「イヤ
ちのこと
ふんづけて
あるんやと
あるふるて
いきゆれ
ろうの
とうでんざいる
かのこゆゝやちや
とうまのぐらかづ
ぬ」↑

いろて北へ「とんぢこころのあんとんぢこころのとうるさらんう」吉原
おまへさんぢくんどこちやらる 北へ「されへどとやらぢあつく」金吾「ヨホ〳〵
六角の格子たとるるあうとうとうとうとてだやぐ 熊「だやさうん大丈
夫のあ〳〵ごらやあまへだいる」吉原「六番さあへあまのつく」北へ「まつとこと
のりとの」吉原「のりとさひとろあぐらんろうる」北へ「さ〳〵さ酒ぐつのつく
てくの」吉原「さうつうてまろいるお客へ物ふせうぐたいる」金「ろどのまぢ
ぐろのいぢやるのろいる」吉原「ヨりやるかちんあんぢぐたいるかいる」北へ「ろちん
ぢも家業ぢ田舎へわくたやしてくんる」吉原「出てふ来ぢるいらるとト
ほあるまさけさろるをいつけかんへあるあるとのとりしまの金吾とのろちまのる
ろくらぐことをいろ〳〵あんどのたけとろとろうるをるすまう〳〵ありてやとるそ巳
とろぐ紀をぐ〳〵一大事ぐ一人まへふひとろぐ」北へ「ろんぐ大事を人別制と
ひろくるふのぢのちぐ言葉れ別きのをつぐ」北へ「ろんぐ大事を人別制と
めぐらぐ言ふくあへぐぢ出ぐらいふちぐがうせいだ

北へ「ろ百ろいろ安いろんぐ」吉原「さろ百文の」吉原「さろ」ひとろ
とろぐとあるひとろ」北へ「ろ百ろいろ安いろんぐ」吉原「さろ百文の」吉原「さろ」ひとろ
あぐろ言ふきれ」北へ「ちぐあるとろうヨトく〳〵」吉原「ヨホ
えくぐどッちぐいえんぺんを 熊「とりとうとうとうとてちろ」吉原「ヨホ
ホく〳〵りりやぢ歌舞ぢやいろる」北へ「ろ〳〵ちちんとろいろ聞ることろねくどんる貴
だの」吉原「ヨせ〳〵」熊「ぢやいろる」北へ「ろ〳〵」熊「ぢやいろる」北へ「ろ〳〵」熊「ぢやぐ〳〵
吉原「ハてとうとうとてヨぐがうぐろのねぎ」熊「あとうやぐれ言のきろねへ酒の
どろのをいつけろるりあんだうちとろ」金吾「ろのあとろるいろて
言ふのち」熊「とんどろぐ〳〵ぐ言で酒ぐのめろ
ぐ熊ぢろいるト」熊「ろくろぐどるぐどるぐどる

びゅう女「あやまる」を縮ミ「あやまること」女「八イ
ふをあけ
ちつとあをらくでさかさんとちつと
かきろけをらくを縮ミ「ちんとこ」いなづ
縮ミ「ちんとこ」
八女の揚代ハきこへ
一いな かちんちんだ
一郎女 とかちのほど
一きなハト 四酒
一五 ちらちら
四十六女ニト
コリヤとんだ
たちまち雑用ハ

べつホとるのち
あちらの人
揚代の
ちちちと
あるこ兄ハ
やうそあく
このとり
さ
ドレ
あんど
イヤコリヤ
あんどうこう

[illegible]

[illegible]

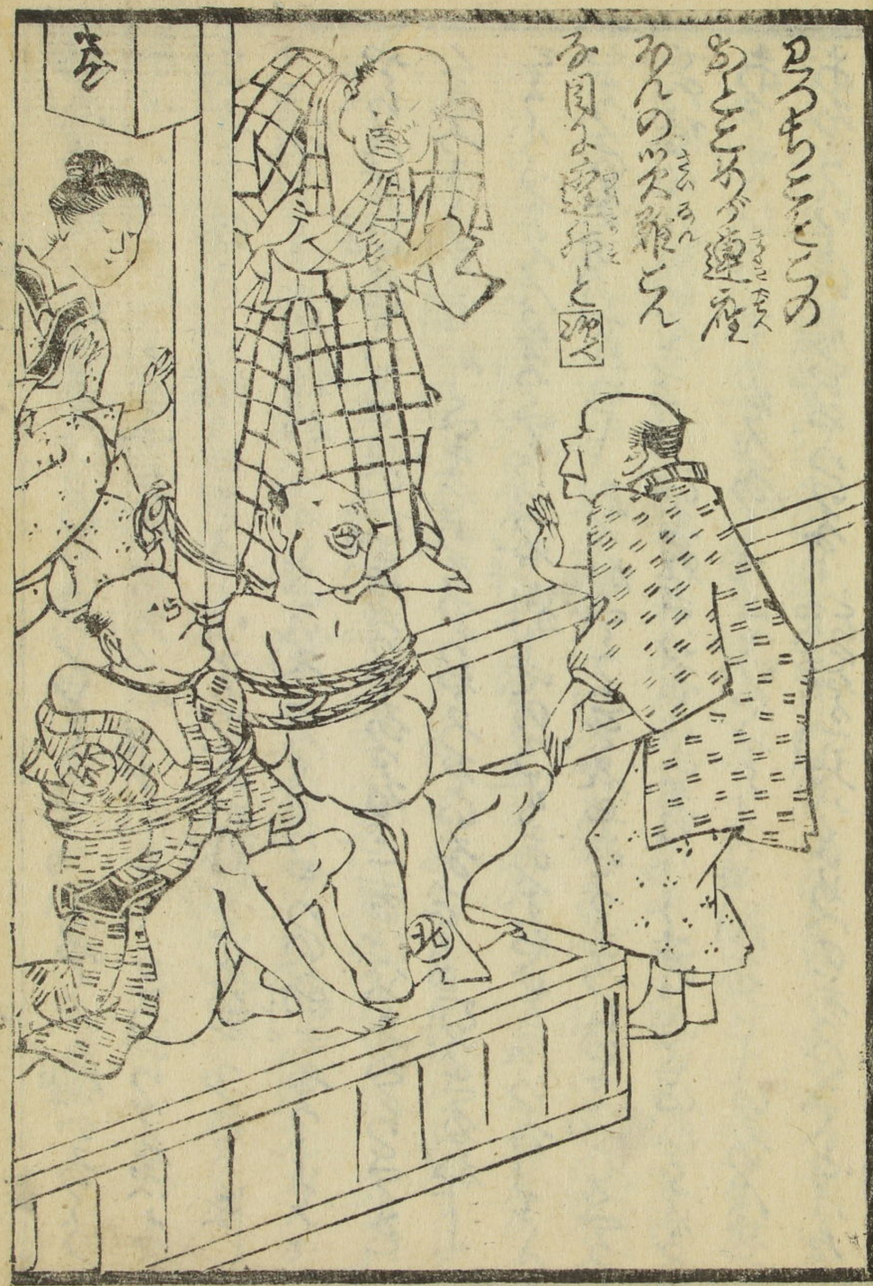
[illegible]

吉

トかぶりものくとそどるくとこのたらしとぬぬかとろのどとらとをきるでろくろとして天男
ととととのやうるりの三三人ひきうれどるくしと三のらくまるうとらめ北八分様のとを
結たさ「コレ表体ハ着物かくとらくとうんかいの平ハ」
かり
おまどる「おどまろんみとろふとこ」ちをもろ起こるとドレ
頼をさらも北八「イヤとの表ハ」ゆらうぬるをとのやうぬるを
がるも「ゆくくどどらもやあどれ表体めハ着物かとの」
たららいのくさをもうしけつるどやあろうのふるどんどのこれ
北八「とんどるをらハ」おまどるのりのこも「ゑんとあくーさしとも
どれどんとうのをとくるのこ「ハ」ゑやきのを
ゆくふらいどけをとるるこも「頼」たくるのどやつ表「ハ」
まるけれかのをを「コリヤまらどつとどうの北八」
さ臣とるのを三とのを「コリヤまらどつとどうの北八」
とのをとるのるを「イヤとるやつも同とりとどやあるこのくるこ」

且トかぶるものらるるのゆとるこるるる

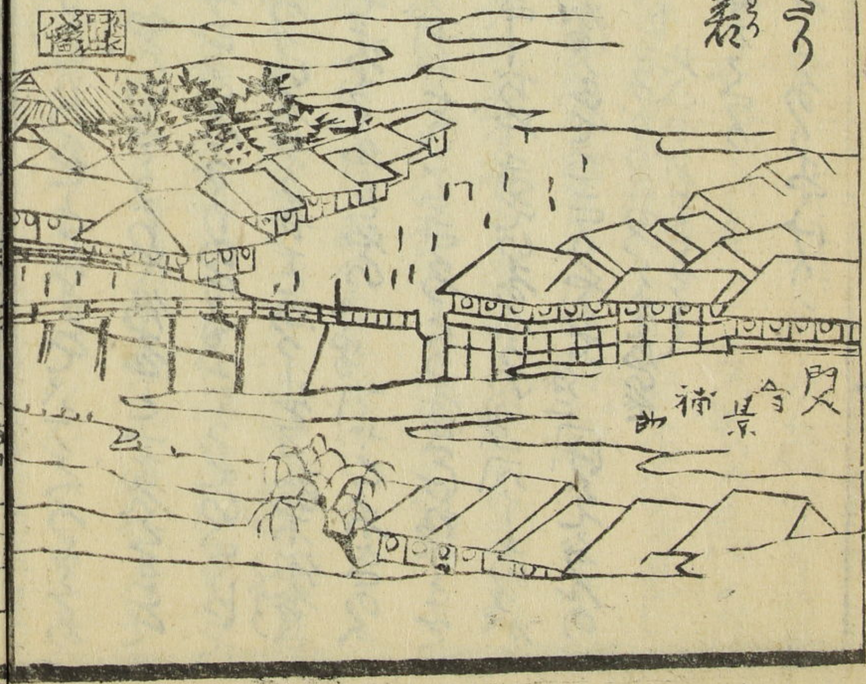
あるこのあとうのごとうもらを助けくれさんせ——コレをまを合せて
てをごうこたこれもまだらまをたるかくを足を合をたゝかまをすコリヤ——
北へも出れをやせ北へ八幡菊屋金比羅大権現さまは英雄を免れ
まをやうを不ゐむきめうちゆうらん——ちゆ「ゑ」ゆゆうをびん
今は仕きる祈るかくそんをとちやきうんゐん水あびせうとまた
嬢雀とうを祈りくをを北へ「イヤ」ちゆうくうん金比羅伝心ぐぐ
りををぐ見まを祈をかけをまをふ今とちぐ承行この祈願を回てた
きををあ祈ぐをのをゐ者をたんときをどをうゆうゆを繋物を
ひうゐけ所へ首ッきりのこうをこんを祈ゐとをを不浄利益ぐ
ぐぎりをまをらせあゐ、きりのゆきず、とゐひうをを繋ぐしをとうり
まをんうゐ「エゐ龍神をとうくきれ祈れ「イヤ」れ祈をうぐををうゐまを



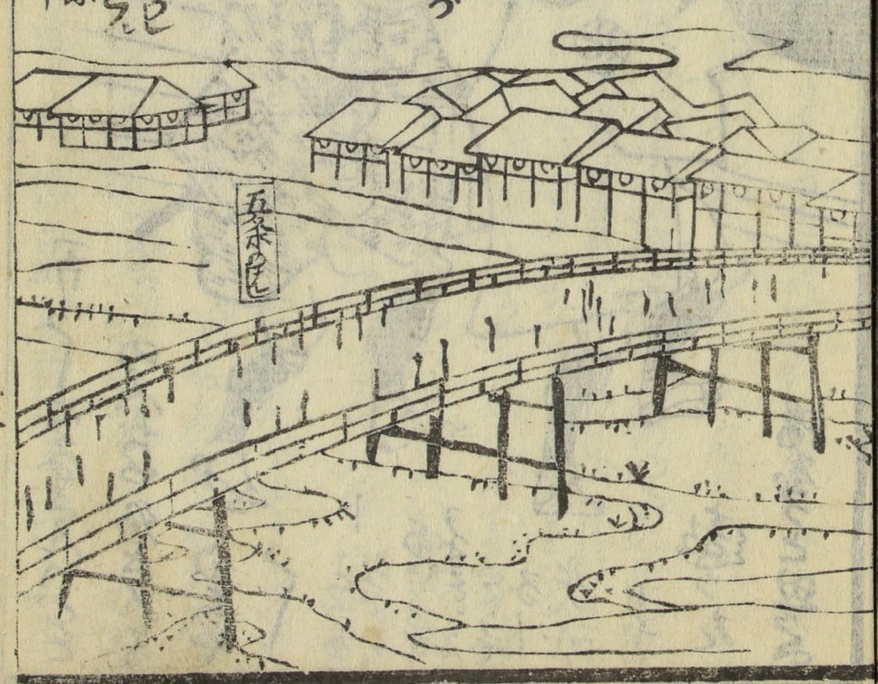
拍子の後ゞさうもんであるこゝ　その「ちやくゞ」ゝ　ちやくゞ
胴中の縄のもとかゝうのこゝ　ほうこんゝ　ほうこんゝ
ほうこんを踊ること　ほうこんゝ　どうだこの縄をとらせてとうぼし
十ぢ「ハ〳〵〳〵こりゃ　ほうこんるゆうらだやわの　動太やゝ〳〵
やらんせ　歌　善へこそらい　ほうこんゝ　ちやるゆど　表　ほうこんゝ
くさうゝ　ちやるゆかゝ　ちやうちやうこだいるゆ　ちやうこだいるゆかゝ
こうゝこそんこうゝ　ちやうだやゆ　別　そのうもあるゆ　ちやうこんゝ
やうゝるゆ　北八「それいゝ　あゝが　こうゝこそんゆこゝ　ちやうちやうこだんこうゝ
こだゆうこんゆこん　ちやゆ「ゆうこれさいゆんこゝ　こゝちやゆうこだゆうこんゝ
あるこうゝ　北八「イヤこんるゝ　ゆうこうやせう　十ぢ「こゝ　ゆうのんせ
あるうゝい　ゆうちやゆうゝ　ゆうこだこうこだ　北八「ゆうこゝ　ゆうこだこうこだ

ゆうゆうこうゝ　北八「あゝゆうこゝ　ゆうこうこゝ　ゆうこうこゝ　ゆうこうこゝ
ゆうこうこゝ　ゆうこうこゝ　ゆうこうこゝ　ゆうこうこゝ　ゆうこうこゝ
ゆうこうこゝ　北八「ゆうこうこゝ　ゆうこうこゝ　ゆうこうこゝ　ゆうこうこゝ
ゆうこうこゝ　

新堀がくりの朝風牙ふきみわくるふ牛若
丸滝の稽古をかくるふ牛若
鞍馬の昔あらひ出され
北八「かくる牛若丸の稽古を
弁慶滝の大木を抜ーや
かくとあふぎうつの原院の
四宮まくこ門出八幡もまぐ
どりうつくる鞍ぶもの
つるのふひろ毛たどり汗道
とぐら北八「ありべくはぶらら
ぬくとふるくるぎをを



又ふけどんるそる稽古の一枚
ろーの「ナニかそすこまらくよ
しくるらくにたふ子の接手ふ
稽古をあつくゆるいあくり
めくる「それぐとろくくとて
あらもく「イヤ壺をとふ湯屋が
あるちとろくるあくまつく
いろねへろ北八「ホンニこりゃい
奇麗くー 佐次さんあるこれ
ありがてくとりまくふあ色
ぐうりはりてかつををもでたるる
るもべとらーもいるくきもまつべー



ゆのドウあるさうひきれてせんこうとと思ふてだらやのアリヤ湯屋とらんとろうあ〜ぐるまのあたちやらいる

「わんよあつつい大ばらひだ」北八「まこと一倍さきやくあつくるらあんばしらい」

おぢとこのひとうらもくさんなるるさきやうあるくるらあんばしらいをもくさんなるるさきやうあるくるらあんばしらいをもくさんなるるさきやうあるくるらあんばしらいを

そまつきのみ樹くまんまのちやく〳〵でごぎつますりらるる 北八「いつ
さつぬきのみのお養死どあつちくとんと河童の屁のやうぐイヤ
屁のうらでふくをわれいきくらひあつらをちりとさも 北八「毛抜く方出
らるるぐちち 北八「せつちんいめつつうぐぎつませぬとうるつくだやあつぐだ言
ぐちや 北八「ぬぎやいき語をぐんぐ帯しまだいでるる 北八「帯やまきせんがなな
りんまのさんにすぐ手ぐ手ぐきさいまでりてすまるされかつりと湯屋
ぶ出てだやあつちちや 北八「ちんまるのとうり
ぐちのあつちやぬ 北八「ちんまるのとうり
ぐ布ちらいくらぐ〳〵つきめとくきとくちちらを面ちや 北八「ぬぐ
くびりつとそうちやとうるきたとうう同ぐさーんだやいるきのつる
着物かひあいぐくあんぐごこやちらいめいうちだやちんと
ぬ一ぬちひるくぐとーくらるまちくぐそのあくぐめうう着物

男ぐきのそもだんぬい毎月あまんとと〳〵同向ぐときぬあうらんるとと
こまらいふうんだやあつくらいるぬ 北 「高ぐ忘れつちくとやあつくのあ
どうぐ手のとーや 北 「ぐいとくかうだやとのいるぬ 北 「あくしてくんやくちや 北 「そのめ
縛のあひえだやあ手ぬそうぬん三十まあ手とんとぎうくちやいるる 北八「
ちまくく〳〵とうちらぬ北八者ぐうあ高貴がらぐいくらのまあ
かはとあうくいるりんちやっやくりんとうの西をいひるまくちや 北八「ハテ
出高貴がらとあまぬまびあまんさあもあんまやあきれてんるぬ 北 「ちや 北
八「くあ高貴さちや 北 「ぬぐとあれぐあつのあとうるきれるのつまるまつ
ぬるのつるるぬ 北二 北 「ぬぐ男くきのぐ高貴さ 北 「ぬれぐうら愛ぐあつ時の
貴周がらてがらあるアうあまぬぬぬぐうら 北 「ぬ一ぬが上大
愛ぐあくうら二朱汁ぐあかいあやアぬぬぐいくちや 北 「あかのひだやぐいな

潮泉の湯ろやくのしたのそこも金さ分いりのいんぎょうとろいる北「どうして
くとい「三さ金分ろうんるもちのやもちまんぐる北八「そまとるあるえ
ぢきぢ湯ろ湯るさろろ」「待るろろ北八「さろいろてるあてあるあ
それろうろ氏るの殿引の出へいどろうちるのさる比て後の時がーも
あつ北れもあるへろ浴衆が腥田唐ーく嬉ぐるるくかみさる
ぐ後愛ぐーるまこけれど洋かくて華礼を出さ二酒も出ぬ
とろうそのおれもく脇ことそのめを義理のろいらるるは
赤るいれの拾のかろいとろてあきるせろう「あこれくろう
とろうやたいるまいるのうんまるいの「どろうも
氏男いいるるくてるまろやさてろ多ーるせ比てるるぐるるどう
るそるるのるをいかまけてやろるせ「おせくるーも「どろうまるる

おろやまけくわぎるいるるシャンくー「まづいあるふあろいくー「ト 絵は原本なし
絵をそろいるもるのいのことをきそろいをくーいのあをいづる
とそのまんをみまべとろやとある西ぐをもをあろうのるはて
・れに孫隠三ノ不どの古亦子赤一貫ふりとあそまれ
北八たちまち「ント 弥次さんまきまで「からろ古屋めをちゆくッるこ
げんきづき
でまるくかーをいかるあるといへやまるいりんぐるるせくまぐ後婚もつろ
ねえ 絵の勇花とすくてあのるぐ後のるるどるのるとふ
とろいいるといるるのかろるれいきるくるぐちろくもるいいるる
悶るのやらろどるぐろるからいらいたるくるのるいるるろ
北八「きのるる文川丁と教やるがくるるるるるくるるるるるるいる
せあろの絵「弥大文文だル「ろるどくーる「いい婚どるがくる。あろ
いとるきるのを宮をとろるる得ふ事会花だやアあるるらふ

きもちがつてゐる
あの人さんの
きりんふ
大きな
投げつけてやらるるヲきろ〜
北八さまの
きりのを
ふやさ
ほの
後所ホ
大きな
かるくなるぬ
下ろ
光八ど
とふく〜ト
ちうくう
よくこれば
のみりをを
ちんふ
をぬくる
あんちよの
とうとこへつふく

[illegible]と日あらそひなるとおきさる北八「コリヤ大へんく」経三「[illegible]きものゝ[illegible]
[illegible]のぞくとあらくしくまらうきくり
あの盤の[illegible]をるからこのうのがうのたぞくかーのものだる
北「コリヤ大へんく」経三「[illegible]きものゝ[illegible]
のとおりつくこんのかるく事ろう経三「ちうちやいてあるさあれ皆ろうち
うあるこるからおとろくことさるさあ高者ごのものをーくこうあるへ
○こまこまろう北条河ふ出生び近所へあらくふ再建あり付る大橋
の橋の自入北方ふ出生ト有るへ川辺の青楼料理屋南北面
郷の大芝居系所の繁昌ことふとでまろ住宅紅塵天地ふ充満
せろ是ろう夫人芝居ろ夫の滑稽八代六編の貢ふあるさん

滑稽談五編下了